

火の魂ファミリーのみんな、いつも本当にありがとう。

2017年も1月が終わり2月が始まりましたね。

インフルエンザや胃腸炎も流行っているので、体調管理には気をつけていきましょう！

さて、今月の社長からの手紙は、先日、正社員向けに開催された研修での話が若い人に伝えたい内容だったので、皆にも共有したいと思う。

その物語で伝えたい事は、人が働くのには3つのステージがあるということ

■1つ目のステージが、お金のため、ごはんを食べるために働く「ライスワーク」、

■2つ目のステージが、その仕事が好きで働いている「ライクワーク」、

■3つ目のステージが、自分の使命だと思って働いている「ライフワーク」です。

1つ目の【ライスワーク】をしている人は、お金のため、ごはんを食べるため、生活のために働いていますから、より稼げて今よりも待遇のいい仕事を探し、つつい今この仕事に不満や愚痴を言ってしまいがちで、「仕事＝辛いもの」になってしまう人が多い。

2つ目の【ライクワーク】をしている人は、自分の好きなことを仕事にできているので、その仕事にやりがいを感じ仕事に対して楽しみながら取り組むことができます。

3つ目の【ライフワーク】をしている人は、人に喜ばれることを生き甲斐にしています。

人の役に立つ事を積極的に行うため、周りには自然と人が集まり、仕事とプライベートの境も殆どないので、仕事を仕事だと思わない、つまり一般的に言う苦勞を苦勞と思わないし、周りの人のために努力を惜しまない生き方なので樂をしたいという考えにはならないのです。周りの人が困る様な逆境のときこそ、『自分の出番だ!』と「ピンチをチャンス」に変え、人のために力になる事を苦勞と思わず、「仕事のやり甲斐」「自分の生き甲斐」と感じ一生懸命になれる人なのです。自分が困った時や上手く行かない時こそ、今まで力を貸した人達が恩を返しに集まります。そんな人は必ず人生も上手くいきます。

人は誰でも初めは、お金のため、ごはんを食べるために働くものです。

私も家族の生活費のために働きました。今の社員たちも家族の為に働いているから、その社員と社員の家族のために使命を持って働くようにしたら、苦難を乗り越えながらも、幸せの輪が広がり、今の火の魂カンパニーが出来上がったのです。

自分の仕事を使命と思えた時、仕事とは「人の役に立つ事」、「社会の役に立つ事」であると気が付き、プロスポーツ選手のように、人々に感動を与える仕事ができる大人になれるのです。私は火の魂カンパニーで働く人たちが、子供に夢を与える輝いた大人に成長し、世の中に良い影響を与えられる企業になりたいと思っています。

この話は、You tube「動画サイト」で見れるので、是非検索して欲しい。

検索ワード「たぬき 男 仕事」で調べると、「たぬきと男の物語」という10分位の動画なので時間がある時に是非見て仕事に対する良い気づきを得て欲しい。